



日田市 農業振興 ビジョン

令和3年度取組内容

目 次

1. 農業振興ビジョンの施策体系と推進委員会の役割・・・P2
2. 主要事業の各施策への反映状況について・・・P3～P14
3. 品目振興のR3実績値について・・・P15～P16

ビジョンの施策体系と推進委員会の役割

基本目標

基本方向
(目指すべき方向性)

基本施策

主要施策

ページ

日田らしい足腰の強い農業と活気ある農村社会をつくる

稼ぐ農業を目指す

Ⅰ 日田の強みをいかす

1 果樹・野菜・花卉・米等の安定生産と生産拡大
2 地域の特性をいかした作物の推進
3 産直野菜の生産拡大と出荷体制の整備
4 足腰の強い畜産業の振興
5 内水面資源の維持と活用

活躍する農業を目指す

Ⅱ 創意工夫で
販路拡大を目指す

1 生産部門との密接な連携によるマーケットインに向けた取組の推進
2 百貨店、量販店、外食産業等のニーズに対応した販売企画、商品開発の推進
3 地域ブランドづくりとPR(各種フェアの開催等)
4 直売所を活用した地産地消・地産外消の推進
5 農商工親の連携、6次産業化への展開
6 農産物の輸出に向けた取組

感動する農業を目指す

Ⅲ 元気な担い手を育てる

1 担い手の明確化と農地の集約
2 集落営農の育成・法人化
3 新規就農者や農業後継者の確保・育成
4 企業の農業参入等の推進
5 包括的な農業支援体制の強化

Ⅳ 使える農地を増やす

1 生産基盤として有効な農地確保や農業用水施設の整備・更新
2 優良農地の保全と有効活用
3 耕作放棄地の解消

Ⅴ やさしい農業を目指す

1 安心・安全な環境保全型農業の推進
2 地域循環を目指した環境にやさしい農業の実現
3 土壌診断・分析の実施

Ⅵ 魅力ある農村を築く

1 美しい田園景観づくりの推進
2 鳥獣害に強い集落づくりの推進
3 グリーンツーリズムの推進
4 健やかな食生活の実現に向けた食育の推進

重点施策

① 担い手をサポートする体制の整備
② 日田の風土に合った循環型農業の実現
③ 時代のニーズに応える日田ブランドの確立
④ 稼ぐ農業のための生産基盤の見直し

日田市農業振興ビジョン 推進委員会

進捗状況の検証・意見集約

☑推進委員会では、各種施策の推進に関連する市の主要事業や取組を挙げ、各施策にどう反映しているかの説明を行います。

☑また、4つの重点施策については、実現に向けた現在の進捗状況の説明を行います。

☑これらの取組内容について、委員の皆様からご意見をいただき、進捗状況の検証と今後の取組の改善に繋がります。

各施策の推進に関連する事業の取組内容等について

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

※R3年度は決算額、4年度は予算額(単位:千円)
【重点施策】=ビジョンの重点施策事業 以降同様

①果樹・野菜・花卉・米等の安定生産と生産拡大(ビジョンP21~22)

R3 ・次代へ繋ぐ園芸産地整備事業 44,395

⇒競争力のある園芸産地づくりを目指すため、栽培施設等の整備に対する支援を行った。

◎国事業 梨：機械導入 SS 8台、運搬機 8台、乗用モア 3台

◎県事業 梨：棚張替 1.86ha、西瓜：糖度空洞化センサーの導入、ぶどう：資材の導入・棚張替 0.43ha
ピーマン：施設整備 6棟、梨：リース料補助、ベリーツ：ウイルスフリー苗の導入

・大規模園芸産地形成促進事業 1,019

⇒園芸団地づくり計画を作成し、大規模転換に対する支援や園芸品目の産地形成に向けた実証実験を行った。

◎にんにく：水田畑地化に向けた種苗・肥料等の支援、スポンジ球対策の支援

◎柚子：防除効果の実証実験 ◎梨：肥培管理等の実証実験

・日田玖珠管内ピーマン選果機導入事業 (R3単年) 2,430

⇒日田玖珠中央選果場ピーマン選果施設の整備を行ったことで、安定した出荷体制の確保と高収益な園芸品目の推進が図られた。

◎ピーマン選果施設整備(日田市・玖珠町・九重町) 総事業費：112,134千円



R4 ・おおいた園芸産地づくり支援事業 11,989 * R3 事業名変更

⇒園芸産地の更なる拡大による農業産出額の向上を図り、競争力のある園芸産地づくりを目指すため、栽培施設等の整備に対して支援を行う。

◎県事業 梨・白ねぎ・高糖度かんしょ・にんにく：機械導入、梨：棚新設・張替、リース料補助
白ねぎ：資材導入

・園芸産地づくり計画策定・推進事業 900 * R3事業名変更

⇒園芸産地づくり計画を作成した園芸品目の推進に要する調査、研修会、実証等に要する経費対して支援を行う。

◎県事業 梨：土壌水分管理・省力効果実証、ピーマン：土壌水分管理・日焼果発生率低減実証
白ネギ：肥培管理実証

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

②地域の特性をいかした作物の推進（ビジョンP23）

③産直野菜の生産拡大と出荷体制の整備（ビジョンP24）

R3 • 産直野菜増産ミニハウス等導入支援事業（H21～） 4,947

⇒産直野菜の栽培支援及び農業所得の向上に向けて、ミニハウス等の導入に対して支援を行った。

◎新設6棟11.72a、遊休ハウス改修1棟4.90a、灌水施設整備4棟

• 津江地域野菜集出荷助成事業（H17～R3） 2,162

⇒津江地域の野菜集出荷体制の維持・継続を図るための必要経費に対して補助を行った。

◎対象地区及び対象者：上津江・中津江・前津江地域の産直部会員

R4 • 新 津江地域産地づくり実証事業 1,893

⇒津江地域で生産された農産物の新しい流通や販路を構築するための実証試験を行うことで、地域が一体となって津江地域の農業を支援する仕組みづくりを検証する。

◎上津江・中津江：デマンドバスを活用した貨客混載

◎前津江：地域の集出荷・販売促進を担う組織化に向けた実証試験

◎上津江・中津江：加工用トウガラシの試験栽培、前津江：有機野菜づくり研修会他

• 新 JRを活用した貨客混載実証実験

⇒JR久大本線における新しい流通を構築するため、「つばめマルシェ@博多」で販売する果物や野菜の荷物輸送サービスの実証実験を行う。

◎配送区間：日田駅・うきは駅→博多駅、輸送品目：日田梨、無農薬野菜、加工品



<貨客混載実証試験>

【基本施策Ⅰ】日田の強みをいかす

④足腰の強い畜産業の振興（ビジョンP25）

R3 ・ **肉用牛新規参入促進特別対策事業（R3～）** 13,266 *基本施策Ⅲ-①にも関連

⇒肉用繁殖牛への新規参入や独立就農を促すため、牛舎・堆肥舎の施設整備等に対する支援を行い、新たな担い手の確保を図った。

◎新規就農1件：牛舎新設・繁殖牛導入等

・ **肉用牛生産基盤拡大支援事業（H27～）** 4,317

⇒「おおいと和牛」の安定供給に向けた繁殖牛農家の生産基盤の強化を図るため、繁殖雌牛の導入及び自家保留に要する経費の支援を行った。

◎14件：優良雌牛導入および自家保留41頭

・ **後継牛緊急確保特別対策事業（H30～）** 10,092

⇒酪農家数や乳用牛が減少している実態に対し、継続的な営農と生乳生産量の確保を図るため、乳用雌牛を増頭する経費の支援を行った。

◎12件：乳用雌牛導入および自家保留158頭

R4 ・ **（新）畜産飼料高騰特別支援事業** 31,070

⇒コロナ禍の原油価格・物価の高騰は、飼料や原材料の多くを輸入に依存する畜産農家の経営にも打撃を与えていることから、飼料購入費の一部を補助することで経営安定と事業継続を図るもの。

◎配合飼料・粗飼料購入費に対する支援

⑤内水面資源の維持と活用（ビジョンP26）

R3 ・ **内水面資源維持事業（H17以前～）** 3,750

⇒市内河川における主要水産資源の維持・増殖を図るため、漁協が行う稚魚放流等を支援した。

◎日田漁協…アユの中間育成及びアユ・ヤマメ等の稚魚放流 放流尾数：約1,040千尾

◎津江漁協…ヤマメの中間育成及びアユ・ヤマメ等の稚魚放流 放流尾数：約 70千尾

【基本施策Ⅱ】 創意工夫で販路拡大を目指す

- ①生産部門との密接な連携によるマーケットインに向けた取組の推進（ビジョンP27）
- ②百貨店、量販店、外食産業等のニーズに応じた販売企画、商品開発の推進（ビジョンP28）
- ③地域ブランドづくりとPR（ビジョンP29）

R3 ・ 農産物ブランド推進事業（H29～） 281 【重点施策3】

⇒市場での販売促進キャンペーンや、百貨店・高級フルーツ店に対する商談会等を実施した。

- ◎大分マーケット：市場キャンペーン・量販店におけるフェアを開催
- ◎福岡マーケット：百貨店・高級フルーツ店を対象とした現地商談会を開催
- ◎その他マーケット：水郷日田観光親善大使と連携したリモートによる日田梨販促会の開催

・ ひたアグリスクール運営事業（R3～） 115 * 基本施策Ⅱ-⑤にも関連

⇒日田三隈高校食品部・三隈マーケットと日田梨研究同志会、地元の菓子職人と連携した商品開発や販路開拓を行った。

- ◎成果品：日田梨羊羹、日田梨パウンドケーキ、日田梨ブラウニー
- ◎販売先：日田とらや、各種イベント他

R4 ・ 農産物販路開拓事業 5,000 【重点施策3】 * R3事業を見直し

⇒百貨店等に訪れる顧客をターゲットに高品質な農産物のプロモーションを展開し、新たな販路開拓を行う。

- ◎販路開拓：梨・西瓜・ぶどうの高級ギフト開発、カタログギフト等の販促活動
- ◎情報発信：地元写真家・カメラマン、若手生産者と連携した情報誌等の作成



<市場キャンペーン>
(大分市公設地方卸売場)

・ (新) 日田式産地パワーアップ事業 14,750 【重点施策3】 * 基本施策Ⅰ-①に関連

⇒主要農産物の生産振興と魅力向上を図るため、スマート農業技術の推進、輸出拡大や所得の向上に向けて、生産部会や農業団体等が取り組む機械の導入に対して支援し、生産基盤の強化を図る。また、感染症の収束に合わせた反転攻勢に向けて、大分市場をターゲットに主要農産物の魅力アップに向けた取組を展開する。

- ◎主要農産物(梨・西瓜・ぶどう・梅・すもも)生産基盤チャレンジ事業（補助率1/2、100万円上限）
- ◎メディアや量販店、市場、全農おおいた等と連携した旬入りフェアの開催

【基本施策Ⅱ】 創意工夫で販路拡大を目指す

⑤農商工観の連携・6次産業化への展開（ビジョンP31）

R3 ・ HITA-SHIKI Project タイアップ企画

⇒市内飲食店等で組織するHITA-SHIKI Project(日田式プロジェクト)が旬の農産物を使用したメニューを開発し、農商工観が連携した「デリデリヒタ」企画を実施した。

◎参加店舗：14店舗

◎農産物：西瓜、シャインマスカット、梨、柚子、いちご等

R4 ・ 企業と連携した商品開発【重点施策3】

⇒有名企業や生産部会、県農協等と連携した日田梨を使用した商品の開発並びに販売促進を行う。

◎R3年9月 カゴメ株式会社 「野菜生活100日田梨ミックス」 *R4 一時休止

◎R4年6月 アサヒ飲料株式会社 「三ツ矢にほんくだもの大分県産日田の梨」 *R4 販売開始

◎R4年8月 ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 「おおいた日田の梨ソーダ」 *R1 販売開始、R4 再販売



⑥農産物の輸出に向けた取組（ビジョンP32）

R3 ・ 日田梨輸出促進事業（H21～） 1,090【重点施策3】

⇒日田梨の海外輸出の拡大を図るとともに、安心・安全で品質の高い日田梨ブランドの確立を図るため、日田梨部会を中心としたブランド輸出協議会が行う海外における販促活動や商談会等の経費に対して助成を行った。

◎輸出国 台湾、香港、ベトナム、タイ、シンガポール他

目標指標 の検証	指標名	R2実績	R3目標	R3実績	評価
	梨輸出量（t）	102	125	102	△

※各指標の評価欄は、目標に対する実績の達成度が100%以上で「○」、80～99%で「△」、79%以下で「×」とした（以降同様）

【基本施策Ⅲ】元気な担い手を育てる

①担い手の明確化と農地の集約（ビジョンP33）

R3 ・ 実質化した「人・農地プラン」の策定（H24～ 実質化はH30～）

⇒集落単位で将来の農地利用や農業経営のあり方について、合意形成を図り、実質化した「人・農地プラン」策定の推進を図った。

◎R3新規策定地区：8件⇒これまでの策定地区累計：31件

R4 ・ 「人・農地プラン」から「地域計画」へ

⇒基盤強化法の改正により、これまでの「人・農地プラン」に加え、10年後の目指すべき将来の農地利用の姿を描いた目標地図の作製等を追加し、農地の集約化に向けた取組の加速化を図る。

◎R4より大鶴地区、上・中津江地区をモデル地区として先行的に取り組む。

目標指標
の検証

指標名	R2実績	R3目標	R3実績	評価
担い手への 農地集積面積（ha）	1,880	2,100	1,876	△



<人・農地プラン話し合い>

②集落営農の育成・法人化（ビジョンP34）

R3 ・ 集落営農組織活動支援事業（H23～） 6,000

⇒集落営農組織が取り組む共同機械導入に対して支援することで、農作業受託の共同化・効率化に繋げ、農地保全と生産性の向上を図った。

◎2組織：コンバイン・トラクター他導入

目標指標
の検証

指標名	R2実績	R3目標	R3実績	評価
集落営農組織 法人数（法人）	9	12	9	×



【基本施策Ⅲ】元気な担い手を育てる

③新規就農者や農業後継者の確保・育成（ビジョンP35）

R3 ・新規就農者総合支援事業（H24～） 11,862

⇒就農初期段階の青年農業者に対して支援を行い、早期の経営安定化と定着に繋げた。

◎給付金事業 継続対象者9組10名、R3新規採択者1名

*R4より、給付金の給付期間が5年から3年に見直され、機械・施設等の導入支援事業が新設された（経営発展支援事業）。

・ファーマーズスクール研修事業（H28～） 820

⇒市が推進する品目の栽培・経営技術を研修するファーマーズスクールの設置により、新規就農者の確保・育成を図った。

◎えのき研修生2組4名、ぶどう研修生1名



・農業後継者育成支援事業（H28～） 7,059

⇒国の農業次世代人材投資資金の対象とならない親元で就農する農業後継者に対する給付金を給付するほか、青年農業者が行う研究会等の活動に対して補助を行うことで、農業後継者の育成を図った。

◎給付金事業 継続対象者4名、R3新規採択者3名

◎青年農業研究会への取組支援

⇒日田郡連によるポッドキャスト番組「ひた農らじお」がR3年12月よりスタート。

日田の農業の魅力を発信していく。

目標指標
の検証

指標名	R2実績	R3目標	R3実績	評価
新規就農者数（人）	42	31	25	△



【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

①生産基盤として有効な農地確保や農業用水施設の整備・更新（ビジョンP37）

R3 • 農地耕作条件改善事業（入江地区） 26,598 【重点施策4】 * 基本施策Ⅰ-①にも関連

◎事業期間：R1～R4 整備面積2.1ha 入植者5名

令和3年度（2繰）実績…さく井（ボーリング）工事（φ150 深度H=250m）

令和4年度（3年繰越）…揚水施設整備工事、ポンプ室建設工事、用水管整備工事 38,800

• 農業基盤整備促進事業（霜原地区） 19,226

◎事業期間：R2～R3

令和3年度（2繰）実績…さく井（ボーリング）工事（φ150 深度H=72m）

機械設備工事（水中ポンプ、動力盤一式）

• ため池ハザードマップ作成事業 2,134

◎事業期間：R2～R3

令和3年度（2繰）実績…ハザードマップ作成（対象ため池：8池）

⇒高瀬第1、高瀬第2、水上、日向野、九郎仁田、へぼ山、ウト、石場

• 県営経営体育成基盤整備事業【重点施策4】

杉河内地区 18,713

◎事業期間：R1～R7 受益面積 12.1ha

令和3年度実績…区画整理一式、測量試験費一式、道路改良 L=610m

大肥地区 6,464

◎事業期間：H30～R5 受益面積 15.0ha

令和3年度実績…区画整理一式、暗渠排水一式、実施設計一式

目標指標
の検証

指標名	R2実績	R3目標	R3実績	評価
水田整備済 面積（ha）	883	883	883	○
農道整備延長（km）	181	184	183	△



【基本施策Ⅳ】使える農地を増やす

②優良農地の保全と有効活用（ビジョンP38）

R3 • 中山間地域等直接支払事業 110,497 * 基本施策Ⅵ-①にも関連

⇒農業生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄地の発生防止や農地を保全するため、5年間の農地保全協定を締結した集落の活動を支援した。

◎事業期間 R2～R6（第5期） ◎集落協定数 108協定 対象面積 816.47ha

• 多面的機能支払交付金事業（H19～） 27,335 * 基本施策Ⅵ-①にも関連

⇒農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行うことで、地域資源の適切な保全管理を推進した。

◎取組組織 29組織 対象面積 869.17ha

• 集落戦略作成の取組（R2～） * 中山間地域等直接支払事業で実施

⇒協定農用地の将来像並びに協定農用地を含む集落全体の将来像、課題、対策について、協定参加者で話し合いのうえ作成する集落全体の指針となる「集落戦略」の作成を推進した。

◎対象集落64集落のうち、R3までに14集落を作成済。

◎残り50集落の作成に向け取組中。R4は10月末時点で12集落作成済。

目標指標
の検証

指標名	R2実績	R3目標	R3実績	評価
多面的機能 支払交付面積（ha）	845	870	869	△



<住民と農業者による水路清掃>

【基本施策Ⅴ】やさしい農業を目指す

- ①安心・安全な環境保全型農業の推進（ビジョンP40）
- ②地域循環を目指した環境にやさしい農業の実現（ビジョンP41）
- ③土壌診断・分析の実施（ビジョンP42）

R3 • 環境保全型農業直接払事業（H28～） 1,103 * 基本施策Ⅵ-①にも関連

⇒化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援した。

◎対象団体：（農）小野谷 レンゲ作付18.4ha

• 畜産施設環境対策事業（R3単年） 512

⇒県と組織する「西部地域畜産環境保全推進指導協議会」で、山田原周辺地域の臭気低減に向けて現地調査などを行い、畜産環境の専門機関からの提案を受けて改善策を講じた。

◎養豚事業者2者が実施する、畜舎周辺への遮へい壁設置及び消臭剤の購入費を支援

• 地域資源利活用推進事業（H26～） 1,590

⇒耕畜連携による自然環境型農業推進のため、集落営農組織等が市内の畜産農家から堆肥を購入する経費を支援した。

◎13団体 対象数量：1,562t 散布面積：106.7ha

R4 • 地域資源利活用推進事業 4,000 * 基本施策Ⅲ-②にも関連

⇒R4より、集落営農組織に加え、個人の農業者にも対象を広げるとともに、堆肥散布を行う集落営農組織に対して、堆肥散布機械の導入に要する経費の一部を支援する。（上限100万円）



• 耕畜連携に向けた講演会の開催 * 日田式循環型農業推進協議会で実施

⇒畜産農家・耕種農家向けに「良質な堆肥づくり」と「堆肥を活用した高品質な作物づくり」に関する講演会を開催し、耕畜連携による自然環境型農業の推進を図る。

【基本施策Ⅵ】魅力ある農村を築く

①美しい田園景観づくりの推進（ビジョンP43）

R3 • 「つなぐ棚田遺産」への認定

⇒「日本の棚田百選（平成11年認定）」に続く全国の棚田地域の振興に関する取組が優れた棚田を農林水産省が改めて認定する取組において、月出山棚田が認定された。（令和4年2月）



②鳥獣害に強い集落づくりの推進（ビジョンP44）

R3 • カワウ被害防止対策事業（H22～）350 * 基本施策Ⅰ-⑤にも関連

⇒食害被害防止のため、漁協の実施するカワウの捕獲活動等の経費の一部を補助し、アユ等主要水産資源の漁獲量向上及び遊漁者の増加を図った。

◎日田漁協…カワウ被害防止に向けた駆除・防除事業を支援。カワウ駆除数：237羽

• 有害鳥獣捕獲事業（H22～）38,164 * 林業振興課事業

⇒有害鳥獣捕獲班員の捕獲に要する経費の一部等を負担することで捕獲活動意欲の向上による捕獲数の増加、農林作物被害の減少に繋がった。

◎捕獲実績イノシシ 1,200頭 シカ 2,509頭ほか

• 鳥獣被害防止総合支援事業（H21～）28,997 * 林業振興課事業

⇒有害鳥獣被害軽減のため、集落で防護柵を設置すること等に対し支援を行った。

◎設置地区数12 設置延長19,881m

【基本施策Ⅵ】魅力ある農村を築く

③グリーンツーリズムの推進（ビジョンP45）

R3 ・ 農家民泊の取組

⇒小切畑、津江、天瀬、大鶴のグリーンツーリズム研究会などで構成する「日田市グリーンツーリズム推進連絡会」が、コロナ禍に対応した観光客の受け入れや、インバウンド客の受け入れ等に関する研修会を実施した。

◎農家民宿開業者数 20軒（小切畑グリーンツーリズム研究会11軒、津江ハートツーリズム研究会4軒、その他5軒）

④健やかな食生活の実現に向けた食育の推進（ビジョンP46）

R3 ・ 学校給食等への川魚の食材提供（H30～） 359 * 日市内水面利活用推進事業で実施

⇒市内の養殖業者が生産する鮎・ヤマメを学校給食や調理実習の食材として提供し、川魚食文化を継承と興味の醸成に繋げた。

◎給食提供：天瀬・大山・津江地域の小中学校

◎調理実習：昭和学園高校調理科



・ 地産地消の取組 * 学校給食課事業

◎地元の食材を学校給食に活用（米、梨、白菜、えのき、ピーマン等）

・ ジビエでつなぐ森とまち「ひたジビエ」ブランド化事業 1,586 * 林業振興課事業

◎高校生と連携した「ひたジビエレシピアンプリ」の実施

◎上記により選ばれた優秀なメニューを学校給食として提供（H29～）

R4 ・ 園児による芋ほり大会の開催

⇒JAおおいた日田青年農業研究会主催による芋堀り大会が開催され、園児を対象に農業体験を行うことで興味の醸成に繋げる。

◎市内5つのこども園より250人の参加



品目振興のR3実績値について

指標名		単位	R2実績	R3目標	R3実績	評価	備考 (目標と実績の増減があった場合の理由など)
梨	生産量	t	2,217	2,500	2,825	○	・気象被害が少なく、豊水などほぼ全ての品種で前年出荷量を上回った
ぶどう	生産量	t	176	150	192	○	・他品種から切り替えたシャインマスカットの若木が育っているため数量増
スイカ	生産量	t	1,395	1,710	1,659	△	・ハウス出荷から量・単価ともに順調に推移したが、8月の大雨により露地分の出荷量が減少
白菜	生産量	t	3,256	3,180	2,715	△	・干ばつの影響による生育遅れのため収量減 ・全国的には豊作傾向であり単価安での推移
梅	販売額	千円	37,100	76,830	90,177	○	・開花後の天候が安定し、町内全域で豊作傾向であったため出荷量が大きく増加した。 ・前年が不作であり梅の需要が高かった。 <今後の課題> ・天候に影響を受けない栽培方法の確立が求められており、その対応を試験的に実施している。
	(生産量)	t	56	—	186		
すもも	販売額	千円	46,925	84,000	86,628	○	・開花後の天候が安定し、町内全域で豊作傾向であったため出荷量が大きく増加した。 ・人工交配の実施による安定した結実。 <今後の課題> ・天候に影響を受けない栽培方法の確立が求められており、その対応を試験的に実施している。 ・開薬機を活用した人工交配の推進。
	(生産量)	t	55	—	107		
白ネギ	販売額	千円	34	65	67	○	・干ばつでの生育遅れの為、細物多く収量減 ・全国的に豊作傾向であり、単価安での推移
ピーマン	生産量	t	25	59	30	×	・8月の長雨により病害が発生し、早期に出荷終了した生産者もあり減少 ・価格がシーズンの大半が低調であったことも要因
にんにく	生産量	t	9	10	6	×	・今作は収量増であったが、加工用取引業者の買い付け販売や個人販売の増加により、系統出荷率の低下

指標名		単位	R2実績	R3目標	R3実績	評価	備考 （目標と実績の増減があった場合の理由など）	
えのき茸	販売額	千円	788,377	724,195	661,373	△	・原木が安定せず1本当りの平均収量が減少し、生産量に影響を受けた。 ＜今後の課題＞ ・安定した原木の供給に向けた培地の試験。	
	（生産量）	t	2,866	—	2,861			
生椎茸 （原木・菌床）	生産量	t	26	25	20	△	・サンマッシュ（菌床しいたけ品種）の数量が減少	
乾燥椎茸 （原木）	生産量	t	91	100	96	△		
クレソン /ハーブ	販売額	千円	65,226	93,570	63,116	×	夏期の高温の影響により生育が悪く、出荷量に大きく影響した。	
	（生産量）	t	—	—	28			
わさび	生産量	t	31	37	27	×	・葉わさびの単価下落や高齢化により生産量が減少した。	
山椒	生産量	t	5	5	4	△		
米	栽培面積	ha	1,020	1,006	1,006	—		
	生産量	t	4,457	4,911	4,869	—		
産直野菜	日田	販売額	千円	311,409	315,000	319,699	○	・出荷店舗数が増加したことにより販売額が増加
	大山	販売額	千円	989,257	1,118,871	949,850	△	＜今後の課題＞ ・土づくりを主体とした農産品の生産を一層充実する。 ・新規栽培者の獲得
肉用牛	出荷量	頭	1,359	1,360	1,458	○	・特にET（受精卵移植）牛の頭数が増加	
乳用牛	生乳生産量	t	38,740	39,000	39,946	○	牛舎増改築により飼養頭数が増え乳量増に繋がっている。	